

くまの議会だより

魅力ある“まち”づくり！
ワールドカフェ くまの



「住みたい」「住んで良かった」
と思える“まち”に！

令和6年
9月定例会

筆の都くまの



熊野町観光大使 ふでりん

主な内容

- 令和6年度補正予算を審議
- 令和5年度決算を認定
- スバリ町政を問う！

第132号
2024.11.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください

発行 ● 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)820-5630 FAX(082)855-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

9月定例会こんなことが決まりました

9月定例会は、9月3日から13日までの会期で開催されました。
 令和5年度熊野町各会計歳入歳出決算認定など、報告2件、諮問1件、議案13件、認定2件を慎重に審議し原案のとおり可決しました。
 一般質問では、8人の議員が町政の課題などを質しました。

令和6年度一般会計補正予算(第2号)を可決

歳入歳出とも1億6,817万7千円の増額
 総額108億2,224万7千円に

《主なもの》

1. 保育所等の運営 1,816万3千円
 幼稚園から認定こども園へ移行することに伴う施設整備に対する補助金
2. こども医療費の助成対象年齢の拡大など 206万9千円
 医療費の助成対象を現行の中学校卒業までから高校生年代までに拡充するとともに、所得制限を撤廃する。
3. 消防団の運営 47万2千円
 消防団員への安全装備品として手袋を購入
4. 町道城之堀線の改良 1,347万円
 町道城之堀線六丁目工区の整備
5. 町道の維持管理 970万円
 町道中溝萩原線ほかの側溝整備費用など

名誉町民に郷土出身の作曲家「坊田壽真」氏

熊野町名誉町民の選定の同意について(議案第39号)

明治35年に安芸郡本庄村(現:熊野町川角)で生まれ熊野尋常高等小学校(現:熊野第一小学校)出身の坊田氏は、39歳という短い生涯を終えるまで音楽教育家、童謡作曲家として活躍されました。

また、全国各地で歌い継がれてきたわらべ歌や子守歌200曲以上の「採譜」に取り組むなど、日本の音楽教育に大きな功績を残されました。

町内においても、小中学校、幼稚園などで坊田氏の曲が歌い継がれ、正午には坊田氏の作曲した「赤い絵日傘」のメロディが流れるなど町民の間にも広く浸透しています。



放課後児童クラブ保護者負担金の多子軽減措置が導入されます

熊野町放課後児童クラブ設置運営条例の一部改正条例(議案第40号)

同一世帯から2人以上の児童が利用する世帯に対し、最年少の児童から順に2人目は半額、3人目以降は無料になります。(年額)

児童数	現行の負担金①	多子軽減導入後②	軽減額①-②
1人目	40,000円	40,000円	0円
2人目	40,000円	20,000円	20,000円
3人目以降	40,000円	0円	40,000円

※令和7年4月1日施行

こども医療費助成制度の拡大、所得制限が撤廃されます

こども医療費支給条例の一部改正条例(議案第41号)

	現行	改正後
通院助成年齢	中学校卒業まで	18歳到達後最初の3月31日まで
入院助成年齢	中学校卒業まで	18歳到達後最初の3月31日まで
自己負担	通院:1日500円(月4日まで) 入院:1日500円(月14日まで)	変更なし
所得制限	あり(ただし0~2歳制限なし)	なし

※令和7年1月1日施行(令和7年1月診療分から適用開始)

筆の里工房周辺都市公園整備工事(第1期)請負契約を可決

(議案第44号)

【工事の概要】筆の里工房周辺整備事業における都市公園区域内の調整池の一部と仮設駐車場を整備します。

【契約金額】9,680万円(税込)

【契約の相手方】株式会社熊野技建

【工期】議会の議決のあった日の翌日から令和7年3月31日まで

《表決が分かれた議案》

議案番号	議案名	採決	藤本健太	世良将生	水原耕一	福田内邦治	光本一也	中島数宜	尺田耕平	竹爪憲吾	沖田ゆかり	片川学	民法正則	荒瀧穂積	大瀬戸宏樹	時光良造
議案第44号	筆の里工房周辺都市公園整備工事(第1期)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

○:賛成 ×:反対 議長は裁決に加わらない

反対討論…荒瀧穂積議員「事業に対する町長の熱意と責任感を感じないので反対する。」

令和5年度決算を認定!

気になる事業をピックアップ!

主な質疑

観光推進事業

熊野町を対外的にPR



▲広島中央地域連携中枢都市圏事業
(1,353万円)

Q. どのようなPRをしているか

A. イベント情報誌の発行や昨年は大阪や岡山にイベントブースを出店してPRしている。

Q. どれくらい観光客を呼び込めているか。

A. コロナ禍前まで戻ってきている。

町税の収納

町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税



(24億7,677万円)

Q. 町民税、固定資産税の収納率が昨年より下がっているが、要因は。

A. 物価高騰の影響を受けて低所得者からの自主納付が難しくなっていることが要因の一つと考えている。

迷惑電話対策補助金

65歳以上を対象に特殊詐欺防止機能付きの電話機の購入補助金



(50万円)

Q. 特殊詐欺防止機能付きの電話機の購入はどれくらいあったか。

A. 令和5年度からの事業で1万円を上限に申請が54件あった。

廃棄物収集運搬事業

各家庭から出されたゴミを分別処理



(8,279万円)

主な質疑

Q. 熊野町のゴミの特徴は。

A. 環境事務所に持ち込まれる事業者からの可燃ゴミが近年多い状況である。

熊野町子育て世代「住むならくまの」定住応援成金制度

町内で住宅の新築又は購入をされた若年層の方への助成金



(2,013万円)

Q. 補助申請の件数は。

A. 令和5年度は101件。
内訳は町内転居36件、町外転入65件となっている。

下水道工事

熊野団地の污水管を修繕



(6,910万円)

Q. 熊野団地の下水道工事の開始時期と現在の進捗率と完了時期は。

A. 令和元年度に開始し、令和5年度末の進捗状況が43.6%で、国費の状況にもよりますが、令和10年度の完成を目指している。

ズバリ 町政を 問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

皆さんの「暮らし」にかかわることを、議員が質問をしました。

ページ	質問者	質問事項
7	藤本 健太 議員	1. 筆の里工房周辺事業の今後は 2. 各公共施設に命名権を設定して財政負担の負担軽減を
8	世良 将生 議員 片川 学 議員	1. 老朽化する下水道管による町道の安全性は 1. 地方自治の根幹、住民福祉の向上・増進、当町は
9	中島 数宜 議員	1. 令和8年度から「こども誰でも通園制度」が始まる。その概要は 2. シニアカーの利用者が増加傾向にある。現状は
10	水原 耕一 議員	1. 交通量の増加。住民の安全対策は 2. 避難路整備事業の取り組みは
11	大瀬戸 宏樹 議員	1. 公共施設の利用促進と利便性向上のために 2. 町内のバス事情は
12	荒瀧 穂積 議員	1. 工房周辺整備残地対応は。熱意はあるのか 2. 役場周辺に病院を含む複合施設を造るのか
13	沖田 ゆかり 議員	1. 陣痛時の妊産婦へタクシー料金助成を 2. 学校体育館にエアコン設置を

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q 筆の里工房周辺事業の今後は

A 町長

多くの町民に利用いただける公園となるよう着実に整備を進める。

【Q1】

今現在の遊具の構想や設計の想定は。

【A1】

西防災交流センターの遊具と同等程度を想定している。

【Q2】

全天候型の施設の建設はできないか。

【A2】

体験交流施設北側イベントホールで屋内遊戯が可能。

【Q3】

本当に人に来てもらえる、利用してもらえる公園にしていきたい。

【A3】

町内の小学校とも協議をし、市場調査や物価上昇などにも配慮しながら、具体的に検討を進めていく。

【Q4】

公園までの公共アクセスは。

【A4】

どのような手段であれば町民の方が利用しやすいのか、関係課と検討している。

【Q5】

お出かけ号の増便で対応できないか。

【A5】

現状のお出かけ号では、時間的な運行スケジュールの関係から、増便は難しい。

【Q6】

なぜ本町の公共交通の取り組みは進まないのか。

【A6】

今後は「熊野町地域公共交通計画」に基づき公共交通の諸課題に取り組む。



藤本 健太 議員

Q 各公共施設に命名権を設定して 財政負担の負担軽減を

A 企画担当部長

実施に向けて前向きに検討していく。

【Q1】

各自治体で命名権を活用し財政負担の軽減を行っているが、本町ではなぜ活用しないのか。

【A1】

導入に適した施設の選定や、利用者の「地域」及び「施設」への愛着、導入コスト等について慎重に検討する必要があることから、現時点で導入に至っていない。

【Q2】

人口規模や利用者数を考慮した金額を設定されてはどうか。

【A2】

施設等の維持管理費、事業等の必要経費や利用者数、メディアに取り上げられる頻度、知名度、近隣自治体における事例等を参考に、広告媒体としての価値を総合的に勘案し、検討する。

【Q3】

施設名が不明確かつ混乱がおきないように愛称の条件を町で設定してはいかがか。

【A3】

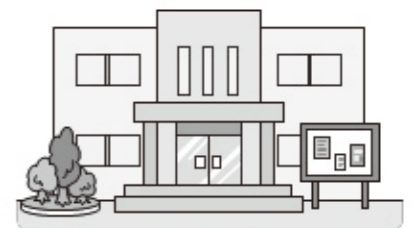
必要に応じて特定の地名やキーワードを含めることなど、町が必要とする条件を募集要項で定めるなどの方法を検討したい。

【Q4】

新しく施設を建設するのではなく、今ある施設を利用するため、予算もかかる話ではない。全く予算がかからないわけではないが、買取側の企業と協議し、対応していただきたい。

【A4】

導入については、事業者および利用者の意見を聞き、既存施設の維持更新や有効活用、地域活性化の取り組みの一環として、検討する。





世良 将生 議員

Q 老朽化する下水道管による町道の安全性は

A 技術担当部長 かんきょ
対策が必要な管渠の43.6%の改築更新工事を行っている。

【Q1】
今年の5月に第三小学校・正門前の町道で起きた道路陥没の原因は。

【A1】
熊野団地には、雨水を集めて流下させる下水道のような管が造成当時に整備されている。この誘導する管が経年の劣化により破損し、地中の土を洗い出し徐々に空洞が広がり表面に現れたものと考えている。

【Q2】
現在熊野町では、このような道路の異常について、どのように把握しているのか。

【A2】
日常業務によるパトロールや職員の通勤時等に異常確認をお願いしている。また住民通報や郵便配達の際に異常があれば通報する協

定を町内郵便局と締結し、把握に努めている。

【Q3】
電話帳には熊野町役場・総合案内-休日・夜間と記載があり、24時間対応になっている。ただ熊野町のホームページには記載が無いので改善すべきでは。

【A3】
ホームページには、夜間・休日の対応についての記載がないので、関係部局と調整をして改善していく。



片川 学 議員

Q 地方自治の根幹、住民福祉の向上・増進、当町は

A 町長
地域行政を自主的・総合的に実施、住民満足を高める。

【Q1】
喫緊課題、教育施設空調発議後、普通教室全て整備済、特別教室・体育館・社会教育施設整備は。視察実施後、提案要望し無検討だが、議員軽視か。

【A1】
予算を考慮し使用実績・優先順位に応じ順次設置し今後必要なところに整備して参りたい。

【Q2】
町民体育館設置管理条例が利用状況に適していない。空調の利用を閉館時間の21時30分まで延長するよう条例改正すべき。

今年7月に要望したがなされていない。予算はかからない早期改正を。

【A2】
昨今の異常気象は承知している。利用状況・

利用者の利便性を鑑み実施に向け取組中。

【Q3】
異常気象を鑑み一斉清掃の時期・川掃除の有無、河川管理は行政である。町民への責任・安全・安心を無考慮、公衛協に責任転嫁、一度は町長責任で徹底し、町民を守ると発言した。一転して町長は無力、当町は農業地域、何年も地道に検討中等々、ボランティア心に甘え擦り逃げし、町民は行政の下請けか。何も検討・前進無し、一斉清掃は否定しないが、住民福祉の向上・増進はどこに。町民不在の独裁政治である。町民付託を受けたリーダーシップは。

【A4】
コミュニティづくりに重要行事である。河川等公共管理は町の責任であり、町が行うには膨大な予算が必要で対応する町内業者もいない。

Q 令和8年度から「こども誰でも通園制度」が始まる。その概要は

A 町長
生後6か月から3才未満のこどもが時間単位で柔軟に保育所等を利用できる制度である。

【Q1】
開始に向けた課題・準備状況は。

【A1】
現在は定員を超えて児童を受け入れている状況で、施設に余裕がないことと、各園で保育士の確保が困難な状況となっている。

【Q2】
その解決策は。

【A2】
保育施設の整備等の協力を得ながら、対応できる保育所等から実施する。また、保育士は現状は足りているが、延長保育等、保育士の負担が増しており、この現状を解消できるよう検討していく。

【Q3】
この制度が導入されるとどれくらいの利用

者を考えているか。

【A3】
試行段階の市町の利用状況を参考にすると一日あたり13人が毎日利用すると見込む。

【Q4】
どのような保育形態を考えているか。

【A4】
保育士・入園児の人数などを鑑み「在園児合同」保育を想定しているが、スタート時から全ての保育所等での導入は難しいと現時点では考えている。

【Q5】
利用料金・利用時間は。

【A5】
1時間300円で1か月10時間までとなっている。



中島 数宜 議員

Q シニアカーの利用者が増加傾向にある。現状は

A 健康福祉部長
介護保険サービスを利用し、15名程度が移動手段として利用されている。



【Q1】
安全確保はどのように取り組んでいるか。

【A1】
シニアカーは歩行者扱いとなり、歩道を走行することになっているが、町内の歩道は狭い等により走行が困難な箇所が多いことは認識している。そのため、ケアマネージャーが安全に必要なケアプランを作成し、レンタル業者が数回安全指導等に取り組んでいる。また、定期的に自宅を訪問し、利用状況の確認や清掃、点検等を行っている。

【Q2】
運転技術の低下等により運転免許返納される方が増えている。購入にあたっては補助金を適用している市町がある。本町は適用する考えは。

【A2】
シニアカーの利用及び購入にかかる経費の補助については他市町の実施状況を確認するなどして、研究していく。

【Q3】
シニアカーのレンタルができる対象者及びレンタル料金は。

【A3】
要介護2～5の方は福祉用具としてレンタルすることが可能。なお、要介護1以下の方がレンタルを希望する場合は医師などの意見書が必要及び、担当者会議で利用を協議する必要がある。またレンタル料金は介護保険負担割合により自己負担額が変わるが月々2千円～8千円程度である。



水原 耕一 議員

Q 交通量の増加。住民の安全対策は

A 町長

街頭キャンペーンで啓発活動を実施している。

【Q1】

自転車は軽車両扱いで左側通行だ。狭い道路での出会い頭の事故につながらないように周知徹底はしているか。

【A1】

小中学生には自転車教室等を開催し周知しているが、それ以外の方への対策を関係機関と協議していく。

【Q2】

最近、町でミニ団地の開発が進んでいるが、歩道が整備されていないところがある。危険回避のため、路面装飾の施工をしてもらいたい。施工基準とお願いしてから完了までの期間はどのようになっているか。

【A2】

安全プログラムにおいて決定した箇所を施工する。完了までは1年以上かかる。

【Q3】

1年以上かかるようでは遅い。ミニ団地ができると分かった時点で町道なら早めの対策がとれるのではないか。

【A3】

早急に対策が必要なものに対しては臨機応変に対応している。



Q 避難路整備事業の取り組みは

A 町長

たいへん重要なものと認識しており積極的に取り組む。

【Q1】

この度、皇帝ハイツに鍵が付いている避難路を整備したが、使用できる条件は。

【A1】

避難場所までの道路が冠水等し、この避難路を利用しなければ安全に避難できない場合のみとしている。

【Q2】

鍵は誰が開けるのか。夜中や大雨時は危険である。

【A2】

町職員が開錠するようになると思うが、自治会や自主防災組織にも協力を求める。

【Q3】

破壊錠等を付ければ鍵は必要ないと思うが、考えは。

【A3】

熊野高校内を通行する避難路のため、防犯上鍵をつけることとしている。

【Q4】

避難路ルートに斜面やため池があるが、フェンスがない。危険ではないか。

【A4】

反射ポールを設置したが、今後避難訓練等を行い、安全に避難できるよう周知を図る。

【Q5】

今の状況では完璧な避難路として使用できない。今後の取り組みは。

【A5】

地元の意見を反映できるよう協議していく。

Q 公共施設の利用促進と利便性向上のために

A 町長

関係各課が連携しながら、精査している。



大瀬戸 宏樹 議員

【Q1】

利用状況と課題は。

【A1】

公民館、各防災交流センター、図書館、町民体育館、町民グラウンド等、災害以前に比べ2割減となっている。

ただ今後の対応については、コロナの影響が落ち着いた今年度の状況を見て判断したい。

【Q2】

町公民館、各3つの防災交流センターには予約システムがあるにも関わらず、決済などの点で不完全な問題が見られる。

またそのほかの施設も同様で、早急に改善を求める。

【A2】

現時点では需要が低く、費用対効果を考え

るとカード決済などの方式は難しいが、今後国のDX推進の動向などを注視して検討する。

【Q3】

各施設にWi-Fiを。

【A3】

費用対効果やニーズを研究し、今後検討していく。



Q 町内のバス事情は

A 町長

朝夕の通勤・通学等では多く利用されているが、日中の利用者が少ない。

【Q1】

広電バスの利用状況は把握しているか。

【A1】

新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、バス利用者は減少している。

【Q2】

阿戸線のここ2年の推移は。

【A2】

大きな変化はない。

【Q3】

拠点の理想について民間事業者との連携の見込みは。

【A3】

現在拠点とすべき候補地の選定や施設規模などの検討を委託しているが、交通結節機能の強化についてはまだ直接的な協議には至っ

ていない。調整がつき次第、連携を進めていく。

【Q4】

子ども達の進路に大きく影響する事業だが。

【A4】

熊野町の将来において重要な事業と位置付けて取り組んでいく。



▲朝・夕の阿戸線バス



荒瀬 穂積 議員

Q 工房周辺整備残地対応は。熱意はあるのか

A 町長

交渉は行ったが、移転は難しい。

【Q1】

筆の里工房周辺整備事業で開発区域内に残地があるが。

【A1】

区域外である。

【Q2】

重要な場所だと思うが。

【A2】

平成30年災害の前から用地交渉を続けているが、合意できていない。

【Q3】

町長が地主に頼みに行かれたことはあるか。

【A3】

県の職員として用地交渉を行っていたが、今は行っていない。

【Q4】

熱意がない。ここが一番大事な場所である。町長自らが本当に良い公園を造りたいと熱心に何度も足を運べば解決もできるのでは。

【A4】

様々な交渉をしたが、現時点では難しい。

【Q5】

これだけの大事業である。この場所は大事だと熱意を伝えてみるのが仕事ではないか。

【A5】

その通りだが、買収できず事業ができない訳ではない。代替地も準備して交渉したが、非常に難しい。もう少し頑張ってみる。

Q 役場周辺に病院を含む複合施設を造るのか

A 町長

どこの公営病院も赤字経営である。総合病院を造ると発言した覚えはない。

【Q1】

役場周辺に病院を含む総合施設を造りたいとのこと。

公約なのか立地適正化計画にあるからか私が提言したからか。

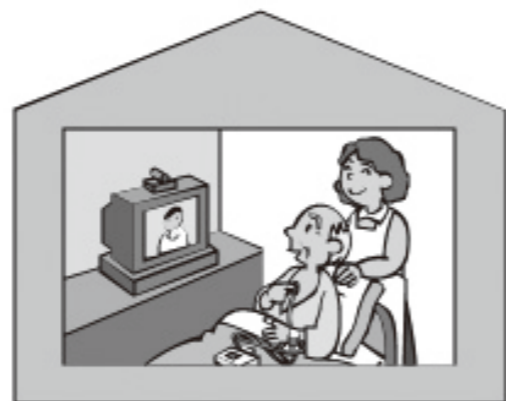
将来ビジョンで市になるのか10～20年後の町の姿が見えない。

交通問題もあり、非常に大事な目玉施設と考える。

【A1】

公営病院の経営はどれも赤字で苦勞している。

私は言っていない。発言した覚えもない。



Q 陣痛時の妊産婦へタクシー料金助成を

A 健康福祉部長

出産準備金を給付しているため考えていない。



沖田 ゆかり 議員

【Q1】

町内には出産できる医療機関がないため、妊婦さんは町外の医療機関に入院している。出産するために、どの市町に入院されているのか。

【A1】

令和5年度では海田町が39%、広島市が15.6%、呉市が8.6%、府中町が7.8%、東広島市が4.7%である。



【Q2】

海田町と広島市が多いが、タクシー料金が5,000円～6,000円かかるのではないと思う。出産準備金の5万円を給付しているため、タクシー料金の助成は考えていないとのことだが、内閣府の調査によると出産準備費用の平均は65,662円と言われている。陣痛が始まる頃まで給付金が残っているとは考えにくい。

【A2】

給付金の使い方は人それぞれであるが、マタニティ面談時に給付金の計画的な活用を含め出産する医療機関までの様々な移動手段を確認している。



Q 学校体育館にエアコン設置を

A 町長

県内他市町の動向を注視し、近いうちに整備していきたい。



▲輻射式冷暖房を設置している体育館

【Q1】

熱中症指数計が33を超える場合の体育の授業や部活動の現状と課題は。

【A1】

小学校では他の授業に振り替えたり、プールを体育館に変更している。熱中症指数計が33を超えた段階では部活動はすべて中止している。

【Q2】

過去に比べて運動する機会が減っている。子ども達の体力低下についてどう考えているか。

【A2】

毎年実施している体力・運動能力調査の結果は芳しくない。運動好きな生徒の育成に向けて、体力向上推進委員会を立ち上げて取り組みを進めている。

【Q3】

子ども達の体力向上のため、また災害時に避難所ともなる学校体育館に、CO2削減効果が高く、コスト削減にもつながる輻射式冷暖房（熱を赤外線として放出する「輻射」の原理を利用して、空間の冷暖房を行う空調方式）の設置をしていただきたいが。

【A3】

輻射式冷暖房は風や音の影響が少ないため、競技や避難所になる体育館には適していると考えている。耐用年数も長期間であるため、今後研究していく。



～魅力ある“まち”づくりに何が必要か～

ワールドカフェ in くまの

令和6年8月23日、熊野町役場で、熊野中学校と熊野東中学校の生徒28名と町議会議員による意見交換会をワールドカフェ方式により行いました。今年で3回目の開催となりますが、笑顔の絶えない和やかな雰囲気の中で、柔軟な創造力や発想力から生まれた、沢山のアイデアをご提案いただきました。



ワールドカフェ(方式)とは

“カフェ”にいるようなリラックスした雰囲気のなかで、少人数に分かれたテーブルで意見を出し合います。途中で何度かメンバーをシャッフルして話し合いを発展させていきます。



生徒たちからのアイデア一覧 (抜粋)

総合病院の設置

ふでりんタワー

バスの本数を増やす

全天候型の遊べる施設

熊野町独自の祝日

駅をつくる

フェスやイベントの開催

自然を壊さないまちづくり

自然にふれあうイベントや施設

高校生の交通費助成

学校対抗スポーツ大会

筆の伝統を絶やさない

地域交流を増やす

魅力ある“まち”づくり!

小さい子どもが安全に遊べる施設

各学校の交流

展望台をつくる

高齢者と子どもが関わるイベントの開催

日本一の遊具を設置する

公共施設へWi-Fiを

町内に安定した高収入の仕事

地域ボランティアでゴミ拾い

道路を広く整備

災害対応を充実させる

働く場所を増やす

コミュニケーションのとれる活気ある場所



～『ワールドカフェ くまの』に参加した 生徒さんの感想～

月 日 曜日 日直

同じ町に暮らしていても 普段なかなか接点のない町議
さんや同年代の皆さん（熊中・東中）と交流する機会
は滅多になく、とても貴重で有意義な時間となりました。
ワールドカフェに参加して、町の未来を想像し多くの
意見に耳を傾け、自身の考えを深め新たな気づきや
発見もありました。

熊野町の明るい未来には、私たち一人一人が町に興味
を持ち向き合うことが大切だと改めて、感じました。



開始してまもなくは、
緊張した雰囲気でした。

話し合っていくうちに
どんどん良いアイデアが
浮かんできました。

熊中・東中の垣根をこえて
コミュニケーションの輪が
広がりました。

題字の揮ごう者



熊野中学校2年生
いまむらりお
今村 莉桜さん

あ と が き

今号の特集で、中学生と議員の意見交換が8月に開催されました。豪雨
災害やコロナの影響で7年ぶりの開催となりましたが、「魅力あるまちづ
くり」に何が必要か」をテーマに中学生から様々な意見が出ました。

7年前の「マックがほしい」という意見が現実になりました。この先も、
住民が望む企業が進出してくるような魅力・活気に溢れた町にしていくこ
とが、議会の役割の一つだと思います。

竹爪 憲吾

お詫びと 訂正

令和6年8月1日発行のくまの議会だより第131号の16ページに次の誤りがありました。
お詫びして訂正します。

誤：初神保育園 正：はつかみこども園